

みやまえ

宮前区役所  
みやまえカルタ制作実行委員会

# みやまえカルタ

## 区誕生30周年記念版

### いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里

**あ** アリーノで  
学べ広がれ  
コミュニティ

「アリーノ」は、有馬・野川生涯学習支援施設の公募で決定した愛称です。平成21年5月に開館し、地域の生涯学習や、コミュニティ交流の拠点となっています。地域図書館や児童室もあり、多くの子どもにも利用されています。

**か** 川崎の  
北の玄関口  
東名川崎インター

東名川崎IC(インターチェンジ)は、東名高速道路の東京ICと厚木IC間が開通した昭和43年4月に開設され川崎の北の玄関口として、市民の交通の要となっています。

**さ** 鷺沼プール  
生まれ変わった  
カッパーク

市民に親しまれていた鷺沼プールの跡地に、平成18年4月に土橋小学校、鷺沼ふれあい広場、フットサル施設「フロンターズ」さきぬみ、さぎ沼など保育園の4つの施設が完成しました。公募で決まったゾーン全体の名称が「カッパーク鷺沼」です。

**た** 狸も住む  
自然が残る  
宮前区

宮前区には、各所に雑木林などが残っており、自然に生息する狸を今も時折見ることが出来ます。

**な** 長い旅  
鶴見へ続く  
有馬川

有馬川は、鷺沼池先が水源で、国道246号を横切るところで地表に姿を現します。有馬から野川方面に流れ、高津区、五反田橋付近で矢上川に流入します。矢上川は幸区南加瀬で、川崎市と横浜市にまたがっている鶴見川と合流します。

**は** 春風が  
桜色に染まる  
宮前区

公園や河川、住宅地など、街の各所に区の木である桜が植えられています。地元の方々が中心になって、例年4月第1日曜日に開催される宮崎台ふる里さくら祭りは、特に有名で、毎年、大勢の人々が賑わいます。

**ま** 曼珠沙華  
往時をしのぶ  
二十三夜塔

二十三夜供養塔は、二十三夜の月の出を一刻も早く拜して、五穀豊穡や子孫繁栄を祈る月待ちの行事を記念して立てられたものです。

**や** 矢上川  
ミヤコタナゴが  
住んでたよ

大蔵地区の矢上川は、現在、殆どが暗渠になっていますが、昔は、谷戸の湧き水から流れるきれいな川で、ミヤコタナゴやフナ、しじみなど清流にすむ生物がたくさんいました。子どもがミヤコタナゴを捕まえて遊んでいたそうです。

**る** 瑠璃色の  
カワセミ飛ぶや  
平瀬川

一時は汚れていた平瀬川が地域住民の行政への要望で豊かな自然の川に変貌しました。今は、市民に愛される散歩スポット、親水広場となっています。4月には鮎も放流されるようになり、時はカワセミの姿も見られるようになりました。

**い** 今と過去  
つなぐ伝統  
八木節よ

大正初期、有馬の青年が浅草で演じられていた八木節を持ち帰り、村の娯楽として紹介したのが始まりです。歌謡には、当時の有馬の姿や祭りの賑わいなどが歌い込まれ、囃子方や踊り、衣装など有馬独特の八木節になっています。

**き** 木々繁る  
自然の宝庫  
ふれあいの森

宮前区には貴重な緑が残っていますが、例えば野川には「野川ふれあいの森」と「南野川ふれあいの森」の二か所のふれあいの森があります。いずれもカシやクヌギなどの雑木林を多く残しており、野鳥の観察や子どもたちの遊び場としても最適です。

**し** 縄文を  
土器が伝える  
遺跡群

昭和30年代から40年代にかけて宅地開発などにもない発掘調査が行われ、湖見台遺跡や菅生遺跡など多くの土器等が見つかっています。

**ち** 竹林の  
風吹き抜ける  
小径かな

東名インター付近は昔「竹の里」と呼ばれていました。開発が進む竹林は激減しましたが、今も竹林を抜ける小径(道)が残っており、その一部では、4月下旬から「朝摘り竹の子販売」の看板が出され、掘りたての竹の子が売られています。

**に** 西東  
巡拝塔は  
集いの場

第三京浜道路にかかる影向寺台橋を渡り切ったすぐ前の旧道左側に「西大山道」「東江戸道」と刻まれた石柱の道標があります。影向寺の参詣、大山参りや江戸へ行く重要な道であったことが分かります。

**ひ** 人が好き  
緑が好き  
まちが好き

区の3つのイメージ、市民の和を大切にしたい。「豊かな自然を表す「緑」、自然と暮らしが調和する「まち」、キーワードに区へ親しみを込めて平成6年にキャッチフレーズにしました。

**み** 宮前のメロンは  
初夏の  
風物詩

宮前メロンは昭和52年に宮前区の一部の農家がトマトの収穫後にメロンの栽培を試みたのが始まりです。かながわブランド「かわさきさくら」にも認定されている宮前区の特産物です。

**ち** 夕暮れに  
かがり火映える  
太鼓ミイティング

区内には民俗芸能や和太鼓のクラブが多く、年1回夏の夕方に一堂に会し太鼓ミイティングを実施しています。夏の風物詩として、文化伝統を楽しく再発見する機会として大変賑わっています。

**れ** 歴史をたどり  
歩いてみたい  
大山街道

大山街道は、江戸の赤坂御門を起点に、渋谷、瀬田を経て、多摩川を二子で渡り、多摩丘陵、相模野の中部を横切り、峠を越えて矢上川を渡る。この道は、江戸時代中期以後、庶民の大山詣りに盛んに利用されました。

**う** 現夜に  
歴史感じる  
オオカミの護符

土橋地区には、オオカミが描かれたお札が貼られている家があります。このお札は代表者が豊作や一年の無事を祈って、青梅の御岳山に参つてもらってくるもので、今もこの土橋御岳講は続いており、この御岳講とつながった「オオカミの護符」が平成20年に制作されました。

**く** 区民祭  
北部市場に  
人あふれ

宮前区民祭は、例年10月中旬の日曜日に北部市場全体を会場にして開催されます。パレードや模擬店、諸団体の催物のほか、北部市場まつりも同時開催される等、多くの人出で賑わっています。お祭りです。

**す** 菅生には  
命を守る  
マリアンナ

長沢にある聖マリアンナ医科大学病院は、特定機能病院として専門的で高度な治療を行っています。正面玄関口には聖母マリアの大きな像があります。

**つ** ツツジ咲く  
毘沙門天や  
等覚院

等覚院はつづじ寺としても親しまれ、境内にはオオムラサキやキリシマツツジなど約2000本のツツジが植えられています。樹齢300年におよぶツツジもあり、咲き誇る様子を見事、毎年4月中旬に見頃を迎えます。

**ぬ** 抜かれても  
ゆつくり走ろう  
尻手黒川道路

川崎区の尻手と麻生区の黒川を結び、宮前区を縦断する尻手黒川道路は、東名高速道路や第三京浜道路などへアクセスする市民の生活に欠かせない大切な道路です。

**ふ** 富士山に  
負けぬ放水  
出初め式

宮前区消防出初式は、新春の恒例行事で、例年、川崎市総合防災訓練場で実施されます。パレードや放水訓練などが行われ、地域の消防団や関係団体も参加して地域防災に努めています。

**む** 昔より  
大数珠まわし  
念仏講

念仏講の講とは、地域に住む人たちが構成されている会で、昔々から決められた日に各家庭に順番に集い、仏壇の前で、南無阿彌陀仏と唱えながら大数珠を回して先祖の霊を慰め、併せて五穀豊穡を祈願する行事です。

**よ** 夜も眠らぬ  
幹線道路の  
246

東京都千代田区を起点とし、静岡県沼津市に至る幹線道路です。古くは矢倉沢往還とも呼ばれ、東海道の脇道であり、江戸庶民の大山参りの信仰の道でした。今も昔も地域の重要な道路として利用されています。

**ろ** 六地藏  
やさしく見守る  
子どもたち

区内にはいくつかの六地藏があります。そのうち平4丁目の葉玉庵そはの六地藏は、赤いだれ掛け等が時々付け替えられ市民に親しまれています。

**え** 遠路はるばる  
歩いて旅した  
鎌倉古道

現在の浄水場通りは、かつて菅生を分断する「かまくら道」と呼ばれる在田川に菅生田原城を結ぶ鎌倉幕府の防衛線の役割を果たしていました。鎌倉時代から奥州へ通る道が菅生地区にもいくつかありました。

**け** 健康を  
楽しく保つ場  
スポーツセンター

宮前スポーツセンターは、区のスポーツ活動の拠点として、平成18年4月に完成しました。大体育室と小体育室、研修室、トレーニング室などがあり、健康増進や体力向上を図るため、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができます。

**せ** 戦国の  
兵眠る  
十三塚

十三塚とは、中世にあった荘園と荘園との境や村と村の境に築いた一列に並ぶ十三の土まんにじゅう型をした盛り土のことです。境界に築いて災禍が領地に入つてこないことを願ったものです。

**て** 電車・バス  
親子でノリノリ  
博物館

電車とバスの博物館は、平成15年に高津駅から宮崎台駅に移しました。東急線の旧型車両の展示、電車やバスの運転シミュレーター、飛行機の操縦体験シミュレーターなどがあり、定期的にイベントも開催されています。

**ね** ねぎまいの  
古式ゆかしき  
白幡八幡

桶屋舞の起源はつきりしませんが、徳川家康が開か原出陣の際に平村の白幡八幡社の神主だった小泉家に「太々神楽」を興行させたのが始まりといわれています。

**へ** 壁画で  
希望を描く  
子どもたち

東名高速道路下には4つのトンネルがあり、防犯もかねて暗いトンネルを少しでも明るくしようと、子どもたちが夢や希望を壁面にしました。

**め** 目の病  
霊験あらたか  
影向寺

今から1300年前に建てられた関東屈指の古刹である影向寺に現世利益の本薬師尊國の霊文化財が安置されています。古くは眼病平癒に利益があることが、善善女(信女)の伝説に耳を聞かせ、薬師堂の重要文化財には眼病が治つたことが奉納した絵が写っています。

**ら** ラップの音  
かたて聞こえし  
宮崎よ

昭和16年に宮崎中学校(現宮崎大学)と、宮崎中学校が設けられました。宮崎中学校から虎の門病院分院あたりに連隊本部や兵舎が置かれ、八幡坂上には高射砲が、鷺沼公園には探照灯が設置されました。

**わ** 私たちが  
守る源流  
水沢の森

菅生緑地西側は、市境の尾根道から緩やかに下る斜面が雑木林や竹林のある里山となっています。水沢の森の愛称で親しまれています。平瀬川、矢上川の水源地でもあり、一帯には縄文遺跡も点在しています。

**お** お囃子に  
神輿が揺れる  
秋祭り

毎年秋には、菅生神社をはじめ、馬絹神社、有馬神明神社などで例大祭が行われ、それぞれの地域で各社のお神輿が練り歩きます。

**こ** 古代の森  
どんぐりコロコロ  
しらかし林

都市開発が進み多摩丘陵のしらかしは僅かに残されている程度です。東高根森林公園のしらかし林は学術的価値が認められ、県の天然記念物に指定されています。クヌギ、コナラなどのどんぐりができる木もたくさんあります。

**そ** そよ風に  
白く輝く  
梨の花

昭和30年頃から多摩川梨の栽培が行われています。梨の花はソメイヨシノに1週間ほど遅れて開花し、満開の時期には、梨園が一面に白く輝きます。

**と** とんもりの  
湧き出る水に  
ホタル住む

飛騨谷戸に流れる水の水源地は、川崎国際生田緑地ゴルフ場内の滝沢の池です。地域のボランティアの環境保全活動のおかげで、ここ10年来、ゴルフ場内水路から飛騨谷戸に毎年6月初旬から中旬にゲンジボタルが飛び交います。

**の** そのそと  
遊び歩いていたか  
お化け灯籠

この灯籠は、港区にあった陸軍東部砲2部隊の将校集会所であり、夜になると六本木あたりに出るといって噂が立ちました。1941年に部隊が移駐した際に灯籠も移駐され、動けないように巨の部分が埋められたことも、切られたといわれています。

**ほ** 本遠寺  
越路吹雪の  
眠る寺

本遠寺は鎌倉時代の建治元年(1275)年に日蓮の弟子・日朗が夜の宿のお礼に念持仏を納めたことから始まりと伝えられています。本遠寺には、シャノン歌手・越路吹雪夫妻の墓がありいくつかの遺品も本堂に祀られています。

**も** 桃の花  
馬絹の里から  
春を告げ

馬絹地区で有名な花栽培の歴史は古く、明治時代中期に始まったといえます。馬絹の代表的花木の花桃は、室(もも)促成栽培が行われ、一足早く地域に春を告げています。

**り** リフレッシュ  
健康づくり  
公園体操

健康づくり、介護予防を目的として、地域の人々が自主的に公園等で体操を行っています。誰でも気軽に参加でき、自分のペースで行うことができます。顔見知りや仲間が増え、地域の輪を広げる場となっています。

**ん** 絵札見て  
宮前区の今昔  
知るカルタ

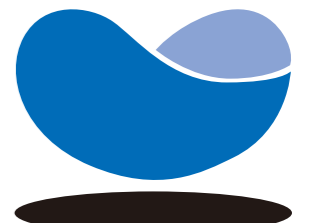
みやまえカルタは、カルタづくりを通して、子どもから大人まで地域への愛着を深めてもらうこと、区民会議から提案されたものです。8つの中学校区ごとの地域カルタと区誕生30周年を記念して制作した区カルタがあります。



# みやまえカルタ

区誕生30周年記念版

いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里



みやまえ

宮前区役所  
みやまえカルタ制作実行委員会